

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原SC計画(家電棟)	階数	地上2F
建設地	相模原市中央区下九沢字山崎765番1外	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,000 人
気候区分		年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	物販店、工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2014年6月 予定	評価の実施日	2014年6月2日
敷地面積	18,680 m ²	作成者	株式会社奥村組
建築面積	6,149 m ²	確認日	2014年6月2日
延床面積	11,864 m ²	確認者	株式会社奥村組



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 30% 60% 80% 100% 100%超:
 □建設 □修繕・更新・解体 □運用 □オンサイト □オフサイト

参照値: 100%
 建築物の取組み: 68%
 上記+ 以外の: 68%
 上記+: 68%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
 Q1 室内環境: 3
 Q3 室外環境(敷地内): 2
 LR1 エネルギー: 3
 LR2 資源・マテリアル: 3
 LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他
可能な限り緑地を配し、景観に配慮した。	0
Q1 室内環境 建物の外気取り入れについて空気質環境に配慮した。	Q2 サービス性能 店舗売場の天井高を高くする事により、広さ感・開放感に配慮した。
Q3 室外環境(敷地内) 適切な緑地づくりに配慮した。	
LR1 エネルギー 屋根に断熱材を設け、建物の熱負荷抑制に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 節水型機器の採用により、水資源保護に配慮した。
	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出量の抑制により地球温暖化への配慮を行った。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される